



目次 -CONTENTS-

理事長あいさつ・・・・・・・・・・P2
 医師あいさつ・・・・・・・・・・P3
 特別養護老人ホーム菜の花ご紹介・・P4
 山田記念クリニックご紹介・・・・P5
 TMSのご紹介・・・・・・・・・・P6~7
 法人施設のご紹介・・・・・・・・・・P8

特集：経頭蓋磁気刺激治療(TMS)のご紹介

地域に根ざした医療と介護と福祉を誠の心で実践します

行動指針：法令遵守(コンプライアンス)と組織統制(ガバナンス)

- 地域の皆様との交流に誠心誠意、努めます。
- 地域の24時間の安全・安心を目指します。
- 地域の医療・介護・福祉の連携に努力します。
- 地域の医療・介護・福祉の充実のため研鑽を積みます。
- 地域のため私たちは健全経営の維持を目指します。
- 私たちは地域と共に成長します。
- 私たちはお互いを理解し尊重します。
- 私たちはお互いに成長する職場内関係を育み維持します。
- 私たちは職務上知り得た情報につき業務外への利用は決していたしません。

理事長あいさつ



医療法人社団 誠道会

理事長 いその 磯野 みちお 倫夫

平成 28 年 10 月 20 日、仙台で開催された日本慢性期医療協会の全国大会に参加しました。当法人から 2 題発表し、うれしいことに「当院における KT バランスチャートを用いた NST の取り組み」が優秀賞を受賞しました。また、「理学療法士としての看護・ケア業務に携わる」～アドバンスリハの取り組み～も、発表後数人が演者の周囲に集まり、色々な質問を受け、関心の高さを感じました。

仙台は初めて訪れた街ですが、宮城県の県庁所在地として以外に、旧帝国大学東北大学の所在地として、また、さかのぼれば伊達政宗の治めた仙台藩のおひざ元でもあります。会場は仙台城跡の近くで、休憩時間に周囲を散策したところ、正宗生誕 450 年の記念展示があり、見学しました。

正宗は勇猛な武将の一面以外に、経済的、政治的に非常に秀でた人物であったようです。政宗が生まれたのは 1567 年で、この時、織田信長は 35 歳、豊臣秀吉は 30 歳、徳川家康は 27 歳で、戦国時代の終盤に生を受けています。武力だけでは生き残れないことを理解し、多角的な視点で仙台藩を築いていった様です。茶道、和歌等文化的な趣味も多く、それが秀吉や家康などとの人間関係の形成に大きく役立ったようです。

来年度、医療・介護保険の同時改定がありますが、団塊の世代の方々が後期高齢者になる 2025 年に向けた大筋を示す改定と予測されます。巷ではいろいろ言われておりますが、医療・介護・福祉は地域における非常に重要なインフラであり、30 数年前に話題になった医療費亡国論は間違いであると思います。国は国民の生命を守り、そのことによって国が成立することを考えれば、医療・介護・福祉が重要なインフラであることは自明の理ですが、なぜか本質の議論にはなりません。

昨年末に設立したグループ法人の社会福祉法人成光会が開設する広域型特別養護老人ホーム「菜の花」の開所を、12月中旬に迎えることができました。施設は災害時の安全のため平屋とし、医療においては各務原リハビリテーション病院と連携し、入所者さんの見守り対策として最新の設備を設置いたしました。

医療法人社団誠道会と社会福祉法人成光会は、鶴沼の医療・介護・福祉のインフラを整備することで地域に貢献し、しいては各務原市の将来の一助になるよう活動していきたいと思っております。



医師 あいさつ



医療法人社団 誠道会

リハビリテーション認定医
一般内科医

たなせ まさみつ
棚瀬 将光

各務原リハビリテーション病院リハビリテーション科・一般内科で常勤医として働いております棚瀬将光と申します。

生まれも育ちも岐阜出身です。開業医であった父親が、地元の患者さんに寄り添い、幅広く病気を診ていた姿に憧れておりました。医師になって岐阜で働くようになり、広く一般内科を学び、ご縁もあり各務原リハビリテーション病院に診療に携わることとなりました。

普段の診療では一般内科に加え、この地域は坂が多く通院困難な患者さんの往診にも関わっております。中にはお看取りの方もおり、病院のベッドではなく、住み慣れた自宅で最期を迎えたいという患者・家族の要望に最大限答えられる様に、訪問看護とも連携をとっております。

また摂食嚥下障害の評価・治療にも参加させてもらっています。摂食嚥下障害とは、一言でいえば「うまく口から飲み込めない」ことです。様々な理由でうまく飲み込めず、肺に入って誤嚥性肺炎を起こす高齢者が、年々増えて来ています。脳梗塞による麻痺・老化による喉の筋肉の衰え・感覚知覚の低下などが原因と考えられます。摂食嚥下には医師に加え、言語聴覚士・歯科衛生士・栄養士・看護師など様々な職種が関わっております。海外では合理的に評価して食べられなければ、リスクを極力減らす経管栄養・点滴管理となるのですが、当院では嚥下内視鏡(VE)や嚥下造影検査(VF)で、飲み込む様子を観察し、食形態や訓練方法などを議論し、可能性を探ります。この点は、患者さんの食の楽しみも極力奪わない、非常に日本的な思いやりだと考えております。

当院はリハビリテーション病院ということもあり、診療以外にもリハビリへの医師の関わりも多く、知識も必要である為、今年リハビリテーション医学会認定臨床医の資格も取得しました。リハビリスタッフである理学療法士・作業療法士・言語聴覚士や、看護師・栄養士・介護士とともに協力し、地域の患者さんに最適な医療を提供できるよう頑張っていこうと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

社会福祉法人 成光会

特別養護老人ホーム菜の花



平成29年12月 開所

特別養護老人ホーム(特養)とは？

特別養護老人ホームとは、寝たきり状態など重度の介護を必要とする要介護者が、少ない費用負担で長期入所できる施設です。社会福祉法人や地方自治体などにより運営される公的な介護施設で、特養とも呼ばれます。

利用対象者

要介護3から5のいずれかの要介護認定を受けている人が対象となります。ただし、要介護1～2の場合であっても、認知症が重度の場合や家族による虐待があるような場合等やむをえない場合には、特例入所が認められます。

特別養護老人ホーム菜の花は、各務原リハビリテーション病院に隣接し、充実した医療サービスが受けられるため、ご利用者様も安心してご入居いただけます。

定員：60名(従来型多床室40名、従来型個室20名)

住所：〒509-0124 各務原市鵜沼山崎町4丁目1番地1

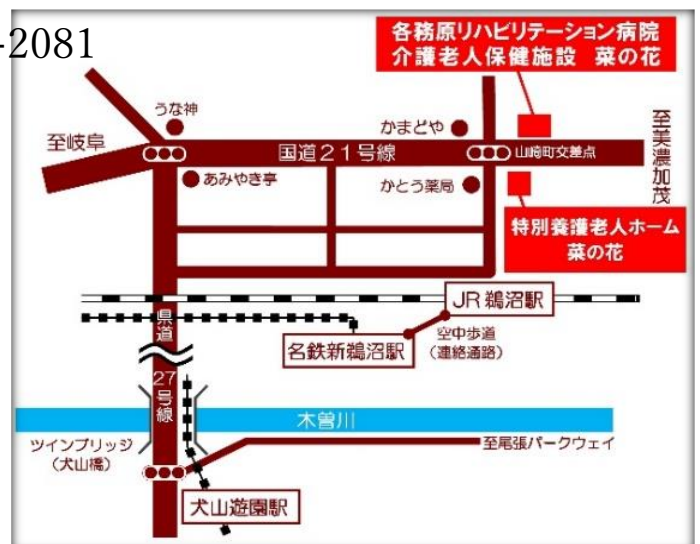
TEL：058-322-2080 FAX：058-322-2081

Mail：info@unuma-seikoukai.or.jp

URL: <http://unuma-seikoukai.or.jp/>

現在、社会福祉法人成光会では新規施設立ち上げのためのスタッフを募集しております。

興味がおありの方は、成光会へのお電話かメールでお問い合わせください。



医療法人社団 誠道会 山田記念クリニック

誠道会
山田記念クリニック

平成 29 年 4 月より「山田整形外科」は、医療法人社団誠道会グループとして新たに『山田記念クリニック』として開院しました。

リハビリテーション科
神経内科
脳神経外科
整形外科
糖尿病内科
老年科

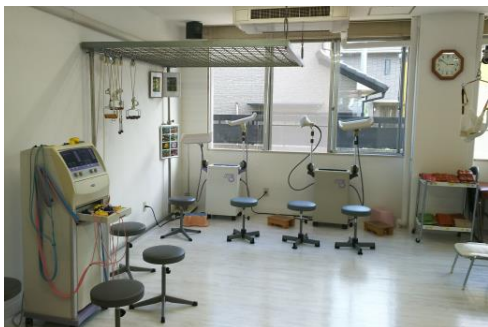
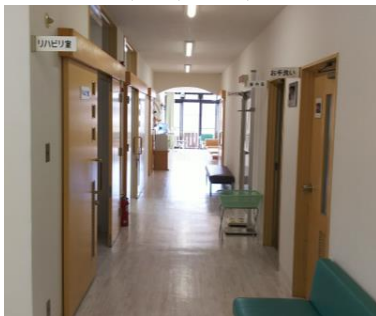
診療時間

9 時 00 分～12 時 00 分 (祝日は休診)
16 時 00 分～18 時 00 分 (月・木曜日のみ)

リハビリ (消炎鎮痛)

平日： 9 時 00 分～12 時 00 分
13 時 00 分～15 時 00 分
土曜日： 9 時 00 分～12 時 00 分

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|--|---------------|---------------|------------------------|----------------------|-----------------------|
| 午前 | 整形外科 | | 山田院長 | 印南智弘 | | | 森嶋達観 (隔週) |
| | 専門予約外来 | 棚瀬将光 一般内科 (隔週) 佐橋 功 神経内科 (隔週) | 新川修司 脳神経外科 | 安藤弘道 脳神経外科 | 和座雅浩 神経内科 嚥下外来 | 伊苅弘之 老年認知症 外来医 | 鷺見将平 循環器内科 (隔週) |
| 午後 | 4:00 ～6:00 | 磯野倫夫 総合内科 糖尿病専門医 | | | 磯野倫夫 総合内科 糖尿病専門医 | | |



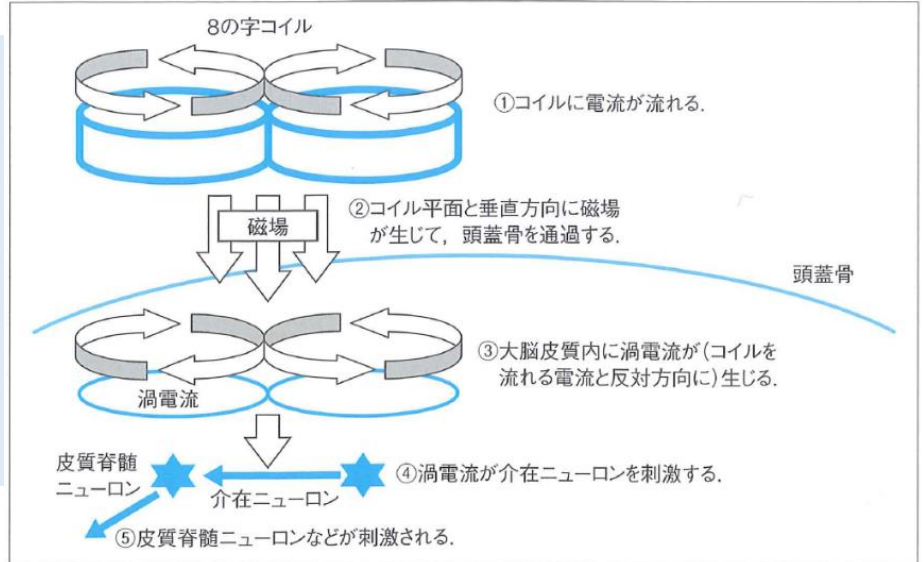
シャトルバス運行中

特集

「経頭蓋磁気刺激(TMS)」を用いた

リハビリテーションアプローチが始まりました！

当院が導入した TMS(transcranial magnetic stimulation：経頭蓋磁気刺激)とは、磁気によって大脳を刺激し脳の活動性を変化させる治療法です。頭部直上のコイルから非接触的に磁気刺激を与え、健側大脳に1秒間に1回のTMS刺激を20分間行なうことによって、間接的に病巣側の脳を活性化させようというものです。



このように一定時間連続して刺激する方法を rTMS(repetitive transcranial magnetic stimulation)といい、健側大脳への rTMS により健側から病側にかかる(半球間)抑制が低下し、機能代償を担うとされる病巣周囲組織が抑制から開放されることで、その活性を増すものと期待されます(左図参照)。当院の取り組みはこうした磁気による現象を活用し、脳卒中後の上肢麻痺への効果的な治療を検証するものです。



- ① 磁気刺激により病側大脳の活動性を高め、リハビリに対する反応性をよくします。
- ② 脳の活動性をさらに高めるため、直後に「集中的リハビリテーション」を行ないます。
- ③ 与えられた課題を通じた「自主トレーニング」を実践します。
- ④ これを決まったスケジュールに基づき入院中毎日実践します。

この方法で脳のもつ代償能力が最大限に発揮され、上肢麻痺などの神経症状の改善を期待します。

TMSプログラム 入院治療の流れ

| 日数 | 入院日 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目 | 9日目 | 10日目 | 11日目 | 12日目 | 13日目 |
|----|----------------|----------------|-----|-----|-----|-------------|-------------|-----|-----|------|--------|------|------|
| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 午前 | 入院 | TMSの施行(20分) | | | | 休み | TMSの施行(20分) | | | | 運動機能評価 | | |
| | TMS治療条件設定 | 個別の集中リハビリ(60分) | | | | | | | | | | | |
| | 運動機能評価 | 自主トレーニング(60分) | | | | | | | | | | | 退院 |
| 午後 | TMSの施行(20分) | | | | 休み | TMSの施行(20分) | | | | | | | |
| | 個別の集中リハビリ(60分) | | | | | | | | | | | | |
| | 自主トレーニング指導 | 自主トレーニング(60分) | | | | | | | | | | | |

月曜日の午前に入院し13日後の土曜日午前の退院となります。計13日間の入院治療となります。午前と午後にそれぞれr-TMSと個別リハビリ、および自主トレーニングを実施します。

◆入院日(月曜日)

オリエンテーションを行います。治療の設定として、脳卒中の責任病巣の詳細(部位と大きさ)を確認後、健側運動野への単発TMSにより運動誘発閾値(Motor Threshold)を決定し、午後にr-TMSを施行します。またリハビリスタッフによる評価や、自主トレーニングの説明があります。評価は入院時と退院時に麻痺側上肢の運動機能を検査するもので、「簡易上肢機能検査(STEF)」と「Fugl-Meyer Assessment(FMA)」の2種類を行ないます。

◆2日目以降

午前と午後にそれぞれr-TMSを実施します。1回の刺激時間は20分間です(1Hz刺激を1200回連続で刺激)。患者様にはリクライニング椅子に座っていただき安静状態で行ないます。r-TMSの直後に、個別リハビリ・自主トレーニングを実施します。自主トレーニングは患者様の能力に合わせた課題を適宜提供いたします。

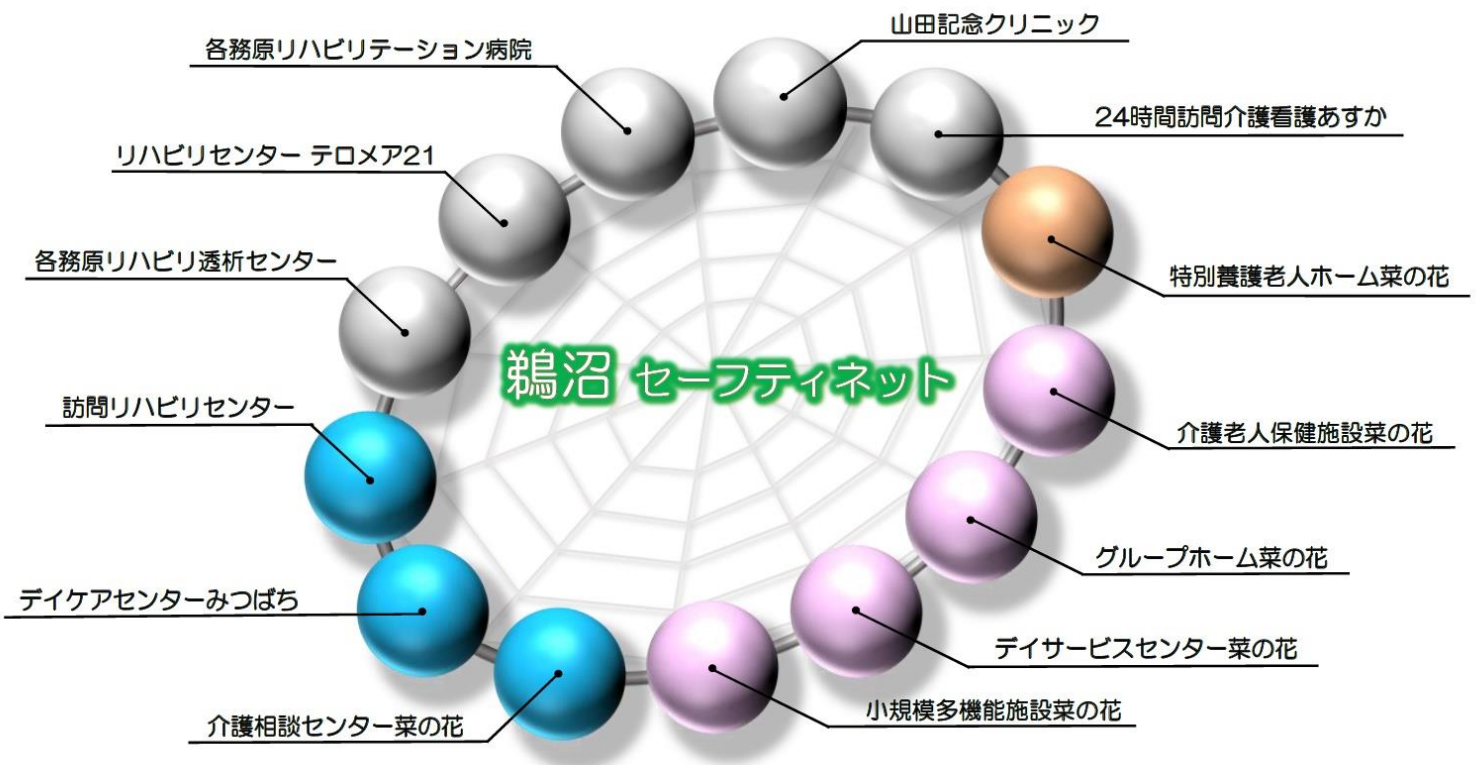
※r-TMSは行わず、集中リハビリと自主トレーニングのみを行なう日もあります。

脳卒中後遺症に対するTMS治療の適応基準

| | | | |
|---|--|----|------------------------------|
| 1 | 片側の病変である | 5 | 最近1年間で、痙攣の既往がない(脳波検査で異常がない) |
| 2 | 脳卒中(脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血)が原因で上肢が麻痺している | 6 | 頭蓋内に金属(クリップ、コイル、ステント)が入っていない |
| | 手首を曲げずに指でグーパーができる (少なくとも親指、人差し指、中指の3指が曲げたり伸ばしたりできる) | 7 | 心臓ペースメーカーが入っていない |
| 3 | 日常生活が自立している(自ら移動できるなど、生活上では介助を必要としない) | 8 | うつ病でない |
| | | 9 | 認知機能に問題がない(認知症でないこと) |
| 4 | 全身状態が良好である (発熱、栄養障害、体力低下、重度の心臓・肝臓疾患がない) | 10 | 年齢が20歳以上である |
| | | 11 | 発症後1年以上が経過している |

- 適応基準を満たしている場合、高い安全性をもってTMS治療ができると予測されますが、その効果は患者様一人ひとりによって異なります
- TMS治療を施行された患者様全員に症状の改善がみられるわけではありませので、TMS治療を行ってもななら症状の変化がみられない場合もあります。
- 「TMS治療が可能かどうか」は、最終的に当院医師の診察によって決定されます。適応基準を満たしていても診察の結果、TMS治療が行えない場合もあります。

法人施設のご紹介



各務原リハビリテーション病院

各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8485 FAX 058-370-1901
(地域医療介護連携室)
TEL 058-384-8181 FAX 058-384-8403

介護老人保健施設菜の花

各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8399 FAX 058-384-2102

デイケアセンターみつばち

各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-2101 FAX 058-384-2102

訪問リハビリテーション

各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-8399 FAX 058-384-2102

デイサービスセンター菜の花

各務原市鶺沼東町 6-10-1
TEL 058-370-7494 FAX 058-370-6936

小規模多機能型居宅介護施設菜の花

各務原市鶺沼東町 6-10-1
TEL 058-370-7775 FAX 058-370-6936

グループホーム菜の花

各務原市鶺沼東町 6-8-1
TEL 058-379-6205 FAX 058-379-6206

介護相談センター菜の花

各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-370-6935 FAX 058-384-2102

24時間訪問介護看護あすか

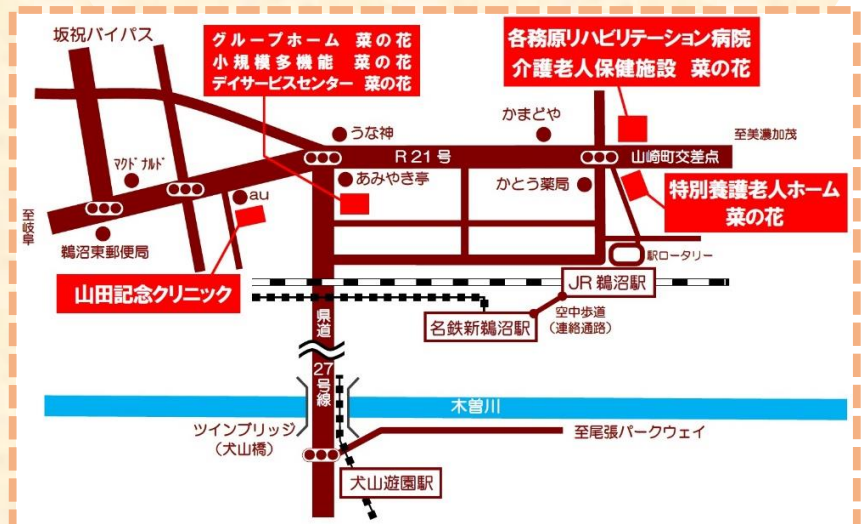
各務原市鶺沼山崎町 6-8-2
TEL 058-384-2455 FAX 058-370-1901

山田記念クリニック

各務原市鶺沼東町 5-39
TEL 058-384-8100 FAX 058-370-5676

特別養護老人ホーム菜の花

各務原市鶺沼山崎町 4-1-1
TEL 058-322-2080 FAX 058-322-2081



SEARCH

医療法人社団 誠道会

GO